

臨床研究に関する情報公開について

岡山旭東病院では以下の通り、患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。
インフォームド・コンセントを実施しない場合において、「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する指針」に基づき、情報公開いたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。ご自身のデータについて、本研究への利用を望まれない場合には、担当責任者にご連絡ください。

西暦 2026 年 4 月 24 日作成

研究課題名	生成 AI による診療録監査の標準化に向けたプロンプト構造の再設計 —2 段階プロンプト構造と IF ルールによる再現性の検証—
研究責任者	医療情報課 海野 博資
研究期間	倫理委員会承認日 ~ 2026 年 12 月 31 日
既存試料・情報の収集期間	2026/3/1~2026/3/31
研究対象者	2026/3/1~2026/3/31 に当院を退院された方。
研究の意義と目的	当院では診療録監査の標準化を目的として生成 AI を活用している。既報では約 3800 字の一体型プロンプトによる監査を報告したが、評価の曖昧さや指示遵守の不備、複数回実行時に評価結果が一致しない再現性の課題が明らかとなった。そこで本研究では課題改善を目的としてプロンプト構造の再設計を行い、監査の精度を高めることを目的とする。
研究の方法	当院の入院診療録 10 例について、従来および改善後プロンプトで同一症例を各 2 回監査し比較した。改善前は一体型プロンプトで情報抽出から評価、監査レポート作成までを一括処理していたが、改善後は情報抽出と評価を分離した二段階プロンプト構造とした。第 1 プロンプトでは事実情報のみ抽出し推測・要約を禁止し、第 2 プロンプトでは IF ルールに基づき評価した。再現性は一致率(2 回一致項目数/全項目数)で算出し、指示遵守率はフォーマット遵守、推測記載および主観表現禁止等の遵守数/全項目数で評価した。
利用する試料・情報	診療録に含まれる、患者基本情報(年齢、性別等)、診断名、既往歴、検査結果(血液検査、画像検査等)、処方・治療内容、診療経過、医師・看護師等の記録、入退院情報 などを利用します。なお、氏名、住所、生年月日等の直接的な個人情報収集・利用しません。
個人情報の保護	個人情報は削除し、どのデータが誰のものか分からなくして、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間 岡山旭東病院診療情報管理室で保存します。電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他紙媒体の情報は施錠可能な保管庫で保管します。
試料・情報の利用の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の提供とも利用を停止することができます。試料・情報の提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	公益財団法人 操風会 岡山旭東病院 研究担当責任者:海野 博資 連絡先(電話番号) 086-276-3231(平日:9 時~17 時)